

# おすすめの1冊

## 江戸時代はエコ時代

石川英輔 / 著



最近、太陽光発電システムを付けた我が家。なんと電力消費が4月はプラス会計。そこで、今回は江戸研究の第一人者として活躍の氏の「大江戸シリーズ」から。

かつては、ほぼ完全な循環型社会を実現していた都市「江戸」のエコ情報が満載の一冊です。

何かと話題の小型無人機「ドローン」。災害や産業面における活用が検討されている一方、軽量で上空から撮影することが安易にできるということもあり、操縦ミスによる落下や撮影によるプライバシー侵害、首相官邸屋上への侵入事件など、さまざまな問題が浮上し、ドローンへの規制をめぐる議論もなされています。

そういった報道の最中、ドローンを使って撮影された西川花公園の映像を香南ケーブルテレビで見てもビックリ!山を覆う桜のピンク、その足下に広がる菜の花の黄色いじゅうたん、そして風になびくフラフ。その見事な景色に、お世話をされている皆さんへの感謝の気持ちと、来年の春が待ち遠しい気持ちでいっぱいになりました。

# 市長談話室

29

母なる川——物部川②

## 関心は、物部川保全の第一歩

### ◆河川的环境汚染

最近、物部川の濁水問題が言われています。その原因の一つが、シカの食害による森林被害です。食害によって樹木や植物がなくなることで、それまで保たれていた土壌が崩壊し、雨が降るたびに土砂が川に流れ込み、水を濁らせます。

そして、農山村の荒廃も原因の一つです。高齢化等により、手入れが行わ

5月15日、物部川の杉田ダムから下流域でアユ漁(友釣り・毛バリ釣り)が解禁となりました。当日は、数日前に降った台風6号の雨の影響もなく、多くの釣り人で賑わいました。川にさおを出す太公望たちの姿は、日本の風物詩であり、初夏を感じさせてくれる光景です。今年も、昨年より天然アユの遡上が多いと聞きます。釣りを楽しみ、そのアユを食せる楽しみ、あるいは、遊びの場として集える川。生命を育み、憩いをもたらしてくれる物部川。環境保全に、みんなで取り組んでまいりましょう。7月に物部川などの一斉清掃を行います。ぜひ、ご参加お願いします。

(関連記事16ページ)

れなくなった人工林は保水力が失われ、濁水や土砂崩れ、鉄砲水といった災害を引き起こします。また、田畑の耕作とあわせて管理されていた水路も、耕作放棄とともに補修されず放置されたままの状態となり、このことも濁水被害を大きくしています。

### ◆水辺林の再生へ向けて

物部川。環境保全活動に取り組ん

でいる方々から、「豊かな川とそれを育む森をつくる流域保全モデル事業」の提案をいただきました。それは、水辺林の再生とあわせて、子どもも大人も川で親しみ川の保全を考えると、いうもので、モデル地区は香南市の日ノ御子。周辺の森づくりを行いなから、山・里・川・海の学習や川と山を同時に体験する事業などが計画されています。彼らの活動のように、環境保全には、対症療法的なハード事業だけでなく、流域住民が一体となった取り組みも大変重要なことです。

四万十川や仁淀川に比べ同じ一級河川でありながら知名度の低い物部川。例えば、物部川流域での博覧会や観光開き、芋煮会にアユ大会など、イベントを実施することで名前を売ることも必要ですが、また行きたい、行ってみたいと思える川づくりも大切なことです。次世代に美しい物部川を引き継いでいくため、まず、川に関心を持つことが保全の第一歩になります。



清藤真司

※物部川・香宗川・烏川・山北川の一斉清掃  
◎日時：7月12日(日)7:00～(雨天のときは26日)  
◎問い合わせ：建設課 TEL57-7518(当日は56-0511)

Let's Eco Life

私たちにできることから 100

環境対策課 ☎57-8508

# ホタル鑑賞のススメ

5月下旬から6月にかけて、ホタルが見頃を迎えます。ホタルは条件が整わなければ生息できない生き物です。ルールを守ってホタルを鑑賞しましょう。

## ホタル鑑賞のルール その1

### ホタルは捕まえない!

ホタルの寿命は短く、1週間ほどしか生きることができません。ホタル保護条例でもホタルを捕まえることは禁止しています。多くの人に楽しんでもらえるようにホタルは絶対に捕まえないでください。

## 香南市ホタル保護条例について

香南市ホタル保護条例は「市内に生息するホタルを保護し、その増殖を図り、市民の貴重な資産として後世に残し、もっと住みよい郷土の発展と市民の豊かな情緒の増進に寄与することを目的として、市の区域内においては、何人も学術その他規則で定める事由を除くほか、ホタルを採捕してはならない。市民はホタルをみだりに採捕することを防止し、その保護に努める。営利の目的をもって違反した者は、3万円以下の罰金に処す。」と定めています。

## ホタル鑑賞のルール その3

### ホタルの生息地を汚さない!

ホタルは様々な条件が整わなければ、生息することができません。例えば、ホタルの幼虫のエサとなる貝は、きれいな川でないと生息できません。エサとなる貝が無ければ、ホタルの数はどんどん減少してしまいます。ホタル鑑賞のときに出たゴミなどは必ず持って帰るようにしましょう。

## 「光」に注意しましょう!

ホタルはオスが光ることによって、メスと交信して子孫を残すと言われています。懐中電灯、車のライトやカメラのフラッシュなど、人工の光で照らしてしまうと交信できず、子孫を残すことができません。ホタルの生息地はとても暗いですが、少し我慢して目を慣らしてみましょう。

香南市では、毎月犬・猫相談日として、飼えなくなった犬や猫の引き取りを実施していました。引き取った犬や猫は、保健所・小動物管理センターへ引き渡されます。しかし、その後新しい飼い主に出会うことは少なく、そのほとんどが殺処分となってしまいます。

少しでも殺処分となる犬・猫を減らすために、香南市では平成27年7月から犬・猫の引き取りを中止することとしました。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

◆犬・猫の引取相談は中央東福祉保健所(☎53-3190)へ

7月から  
犬・猫の引き取り  
を中止します。

